

| 施策 | 施 策 名 |
|-----|---------------|
| 132 | 文化的資産の保護継承と活用 |

各地域に伝わる文化財など、個性と魅力のある文化的資産が住民に広く親しまれるよう、保護継承と活用を図ります。

文化財の保存修理を行ってきたほか、県内に生息する希少生物や天然記念物の状況調査を行って適切な保護施策をとってきました。斎宮歴史博物館のリニューアルや体験学習施設の建設などを行ったほか、発掘調査や出土品の保存、展示を行い、住民の文化財に対する興味や親しみを深めてきました。

平成12年度においても、国・県指定文化財の保存修理事業や調査事業に対して支援するほか、斎宮跡の活用や埋蔵文化財の情報発信機能の充実を図ります。

主な事業

- 1 斎宮跡歴史ロマン再生事業 (予算額 200,000(100,000)千円)
【(102)斎宮歴史博物館事業】〔教育委員会〕
史跡及びその発掘調査への理解を深め、史跡への誘客を図り、斎宮跡の有効な保存活用を行います。平成8年度からの6ヶ年事業ですが、平成12年度は特に史跡全体の1/10模型設置のための実施設計を行います。
- 2 受託発掘調査事業 (予算額 1,290,129(0)千円)
【(103)埋蔵文化財センター事業】〔教育委員会〕
公共事業の事業地内に所在する埋蔵文化財のうち、現状保存の困難なものについて、事業者からの受託事業として、事前に発掘調査を行います。
- 3 奥伊勢フィールド・ミュージアム推進事業 (予算額 30,607(30,607)千円)
【(201)天然記念物の保護と活用事業】〔教育委員会〕
奥伊勢地域(大台町、勢和村、宮川村、大宮町、紀勢町、大内山村)の天然記念物や希少動植物等の自然や、その自然と密着して暮らす人々の生活と歴史文化遺産を対象とした奥伊勢フィールド・ミュージアムの実現に向けて計画を推進するため、エコサイトの整備への助成などを行います。
- 4 文化財保護事業助成 (予算額 140,298(140,098)千円)
【(301)文化的資産の保護継承と活用事業】〔教育委員会〕
国史跡宝塚古墳の保存整備、県史跡熊野街道(八鬼山道)の整備や県指定建造物朝田寺山門保存修理など、文化財の保護、活用のための事業に対して支援を行います。

《関連する施策名》

- 552 流域圏づくりの推進
- 553 みえ歴史街道構想の推進